

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和2年度第2回入間市環境審議会
開 催 日 時	令和2年12月24日(木) 午前9時30分 開会 ・ 午前11時00分 閉会
開 催 場 所	市民会館 4号室
議 長 氏 名	黒瀧 孝秀
出席委員(者)氏名	黒瀧 孝秀、川名 千鶴子、相葉 学、加治 隆、 木内 勝司、斎藤 令子、篠塚 玲子、高村 賢二、 中村 巖、的場 龍太郎、森 友和、森谷 秀一
欠席委員(者)氏名	伊藤 雅道、犬塚 裕雅、永井 健一
説明者の職氏名	環境課長 浅川 英雄、環境課主幹 中村 裕美子 環境課副主幹 友野 明男
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 会長挨拶 3 議題 (1) 令和元年度における環境保全及び創造に関する施策 の進捗状況について (2) その他 4 閉会
非 公 開 理 由	なし
傍 聴 者 数	0名
配 布 資 料	・環境の保全に及び創造に関する施策の進捗状況について(意見) ・令和2年度第1回入間市環境審議会会議録
事務局職員職氏名	環境経済部次長 西澤 章、 環境課長 浅川 英雄 環境課主幹 中村 裕美子、環境課副主幹 友野 明男
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

1 開会 進行：浅川課長

2 会長挨拶

黒瀧会長

3 議題

(1) 令和元年度における環境の保全及び創造に関する施策の進捗状況について

説明：中村主幹、友野副主幹

(2) その他

(審議委員の任期について)

説明：浅川課長

4 閉会

川名副会長

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
議長(黒瀧会長)	<p>【議題（１）令和元年度における環境の保全及び創造に関する施策の進捗状況について】</p>
	<p>議題の令和元年度における環境の保全及び創造に関する施策の進捗状況について審議いたします。</p> <p>前回の審議会の皆さまからのご意見を基に、意見書の原案を作成しました。原案については、事務局の素案に対して私と川名副会長が確認して作成したものです。</p>
中村主幹	<p>はじめに、事務局より意見書を読み上げてください。</p> <p><意見書を読み上げる></p>
議長	<p>それでは、『（１）市民活動団体の支援について』から個別に意見を伺い、修正したいと思います。ご意見のある方は挙手をお願いします。</p>
議長	<p><意見なし></p> <p>次に『（２）公共交通の利便性の向上について』ご意見のある方は挙手をお願いします。</p>
森谷委員	<p>朝9時のバスはガラガラですが12時のバスは座席がほぼ満席でしたので、今後検討していただきたいと思って前回意見を述べました。文中2段目に乗車率のことを加えて、<u>利用時間帯により乗車率に差異があるため</u>、<u>今後は、バス事業者が有する各種データの提供を受け～</u>にすると、より具体的になってよろしいかと思ひます。</p>
議長	<p>意見書の原案を作成したので申し上げますと、森谷委員がおっしゃる乗車率のデータをバス事業者は持っていると思ひますので、それを含めて“バス事業者が有する各種データ”として割愛しました。</p>
森谷委員	<p>意見書を提出する際に補足してもらえればよろしいですが、“乗車率”が無いので <u>乗車率等の各種データの提供を～</u> にするとよいと思ひます。時間帯によって差異があることを記したほうがよいと思ひますが、補足で説明してもらえらるるのであれば、記さなくても結構です。</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長	この件に関して、ご意見のある方はいらっしゃいますか。
高村委員	乗車率を追加したほうがよいと思います。
篠塚委員	森谷委員の言われた“時間帯により”は大切だと思います。入間市コミュニティバスは高齢者が多く利用しています。高齢者が利用する時間帯は限られているので、そこのところを考えて欲しいと思います。
議長	他に意見はございますか。
	<意見なし>
議長	では、森谷委員、高村委員、篠塚委員が言われた内容を追加したいと思います。内容については、後ほど調整します。 その他に『（２）公共交通の利便性の向上について』ご意見はございますか。
斎藤委員	文中に“更なる”が２回あります。１つ目の 更なる利用者の～は、このままでよろしいかと思いますが、２つ目の 更なる利便性の～は、例えば、 <u>より一層の利便性の～</u> に、変えたほうがよいと思います。
議長	他に意見はございますか。
	<意見なし>
議長	それでは、後ほど副会長と事務局で表現を変更いたします。 続いて、『（３）地産地消の促進について』ご意見のある方は挙手をお願いします。
斎藤委員	内容はこれでよろしいかと思いますが、農林水産省のホームページに買い物弱者、買い物難民、買い物困難者という表現がありましたので、文中の“買い物が困難な方”を、“買い物弱者”や“買い物困難者”に変えてもよいと思います。それと、続きの文章の 一方、地場農産物を生産者が～ は、内容が生産者のことなので、改行したほうが分かりやすいと思います。
議長	この件を含めて、他にご意見のある方はいらっしゃいますか。

発 言 者	発 言 内 容
議長	<p><意見なし></p> <p>それでは、後ほど副会長と事務局で表現を変更いたします。</p> <p>続いて、『（４）報告書の記載方法について』ご意見のある方は挙手をお願いします。</p>
議長	<p><意見無し></p> <p>意見がありませんので、『（４）報告書の記載方法について』はこの内容で報告します。</p> <p>最後に意見書下段の“なお書き”の文章について、ご意見がある方はいらっしゃいますか。</p>
森委員	<p>２段目の 環境報告書の作成だけに留まらず、 は、表現を変えたほうがよいと思います。“環境報告書の作成は”は活かして、“作成だけ”という表現は、ちょっと検討したほうがよいと思います。</p>
議長	<p>この表現は毎年同じだったと思いますが、ご意見のとおり“環境報告書の作成だけに留まらず”ですと、確かに意図が伝わるかどうか疑問です。どういう表現がよろしいでしょうか。ここでの意図は、環境報告書だけでP D C Aサイクルを回すのではなく、環境審議会の意見も反映してほしいというものです。よい表現を思いついた方いらっしゃいますか。</p>
木内委員	<p>環境報告書の作成だけに留まらず、 を削除してはいかがでしょうか。</p>
議長	<p>それでは、後ほど副会長と事務局で表現を調整したいと思います。他にご意見はございますか。</p> <p><意見なし></p> <p>《休憩、原案の修正》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（２）公共交通の利便性の向上について ・（３）地産地消の促進について

発 言 者	発 言 内 容
議長	<p>・下段“なお書き”</p> <p>再開します。皆様のご意見を基に、副会長、事務局と修正しました。先ほど意見の無かったものを含めて、（１）から項目ごとに事務局に読み上げて頂きます。</p>
友野副主幹	<p><（１）市民活動団体の支援について 読み上げる></p>
木内委員	<p>“若い世代による新規の団体”と限定すると、高齢者が活動できなくなると思います。新規の団体を受け入れることが必要なので、“若い世代”は削除したほうがよいです。</p> <p>60代を若い世代と言うなら別ですが、若い世代は忙しいので団体活動は不可能だと思います。この意見書で言う若い世代が60代、70代で、高齢化が80代であれば“若い世代”は削除したほうがよいと思います。</p>
議長	<p>木内委員のご意見について、なにかご意見のある方はいらっしゃいますか。</p>
森委員	<p>“若い”が問題なので、“次代”に変えてはいかがでしょうか。</p>
木内委員	<p>“次代”だと、やはり今より若い気がします。私が言いたいのは、加治丘陵山林ボランティアの既存団体は14団体だけです。新しいことをやろうとしても既存団体に加入するように言われ、新しい団体を受け入れられません。既存団体に加入したくても常に会員を募集して歓迎するような団体は少なく、加治丘陵山林ボランティア団体だけではありませんが、市民団体というのは壁があって難しいです。なので、自分達で団体を作ったほうがよいと思っています。</p> <p>これから団体を作ろうとする人が60代や70代でも10年は頑張れます。一般論として市民団体は、1年目は興味を持ってやってみようとなって、2年目に凄く頑張りますが3年目は疲れて辞める人が多いです。だから、どんどん新しい団体が加治丘陵に入って活動する必要があ</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長	<p>ります。市の担当課からすれば新しい団体が増えると大変ですが、面倒を見る必要は無いと思います。枠を決めずにフリーで加治丘陵をやりたいようにやらせればよいと思います。既存の14団体を見ても、好き勝手にやっているところが多いです。私が見た時は、ビックリするくらい木をバサッと切って小屋を作っていました。あれは建築基準違反だと思うし、そういうのがいくつかあります。小屋を作ることを担当課に報告しているのか疑問に思います。</p> <p>そういうことを含めて、加治丘陵はスギ・ヒノキさえ切れば気候がいいのでほっといたら雑木林になっていきます。</p> <p>私は一応造園とか里山のことは仕事柄色々やってきたので、その管理について色々言うから、そういう規制は全く意味がないと思っています。だからもう少し市民を上手く活用する施策を考えてもらいたい。</p> <p>私の中では「新規の団体を受け入れる」には、物凄く強い気持ちが入っています。十何年言い続けているが一向に市は動かない。</p> <p>もっと言えば、加治丘陵さとやま計画は作った時は良かったが、専門家の立場で見るとその運用は失敗だったと思っています。もうちょっと上手くやっているところ、例えば横浜市は、私も仕事で随分計画しましたが、市民に完全に渡して殆んどお金だけを出して口は出さない。そういう里山管理で成功しているところもある。入間市の場合は口を出して成功しない悪い典型例です。色々言いましたが、そのくらいの気持ちが新規の団体の受け入れにはあります。</p>
	<p>只今のご意見に関して意見はございますか。先に私から1点申し上げると、“若い世代による”を削除するとその前の 既存団体の会員が高齢化しているため、 と文章が繋がりませんので、この表現についてもご意見をお願いします。</p> <p>篠塚委員</p> <p>文が短くなりますが また、既存団体の会員が高齢化しており、新規の団体を受け入れることが必要と考えます。 は、いかがでしょうか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
木内委員	<p>補足します。このまま読むと既存団体の高齢化だけが問題になっているように見えます。高齢化と一般的に言いますが、高齢化だけが問題なのではなく、既存の団体が10年、15年と活動してその間に新規団体の入れ替えが全然なく既存団体が固定化されていることが問題です。</p> <p>その団体の中身は何故動かないのかと言うと、中村委員が所属する団体など私見ですが、半分くらいは活動を頑張っている団体もあります。実際は団体を立ち上げる最初の段階で、担当課から里山巡視員として2年経ったら新規団体を作って下さいと言われて、何となく仕方がないから作ったみたいな団体もあるのではないかと思います。そして、その人達が全然活動しなくなった。そのやり方が問題であって純粋に活動するために団体を作りたい言う声もあります。それを担当課が受け入れないことが問題なのです。</p> <p>しかも、最初の頃は担当課も面倒を見ていましたが、今は面倒をみていない。要するに里山管理に関して行政の面倒見が悪いと言う事です。もう少し考えて場合によっては里山管理の専門家を入れてやって下さいと、その時の担当課に話しを聞くと、市民団体の面倒を見るのは厄介だと。当初の担当課であったみどりの課の時は、1年に何回か会合などをしてやりましょうとなってやりましたが、みんな言う事聞かずに勝手なことをするからヤダと言う事になって、みどりの課も段々モチベーションが下がりました。その後、担当課がみどりの課から都市計画課に移って、私も直接都市計画課になぜ新規団体を受け入れないのかと聞いたら、ちょっと別の表現ですけど厄介だからと言われました。私には、既存団体に入って立て直して下さいと言われました。でも、皆さんそれなりの考えで5年、10年と活動を続けてきたので、そんなことは出来ません。その団体の組織を変更するのではなく、新しい団体を入れる。5年、10年と活動を続けている人達はもう終わりなのです。もう十分役割を果たして終わりだから、そういう趣旨を入れるためにも既存団体</p>

発 言 者	発 言 内 容
中村委員	<p>の会員が高齢化ではなく、既存団体の活動がマンネリ化しているから新規団体を入れて下さいと。だから“高齢化”を削除したほうがよいです。一般論として、高齢化で活動出来ない事実はあります。</p> <p>私の団体も活動を始めて11年目になる14番目の団体です。先ほどの若い世代による新規の団体を受け入れるは、私は60歳以上ではなく高校生や大学生を含めて新しい人たちが入ってくることを期待しています。ですから(1)の文章はこのままでよいと思います。年寄りと言うのは木内委員が言われるように、ボランティア団体として活動できる期間が短いです。ですからボランティア活動を継続していくには、高校生や大学生のような方にも協力していただいて、将来のボランティア団体を背負っていくような団体が沢山できればというのが、私の考えです。</p>
議長	<p>敢えて“若い世代”を残して、団体活動を活性化していただきたいとのご意見です。</p>
中村委員	<p>そうです。再生していただきたいということです。</p>
議長	<p>皆さんはいかがでしょうか。</p>
木内委員	<p>それでは、また、既存団体の会員の活動が高齢化等により停滞している懸念もあるので、新規の団体を受け入れることが必要と考えます。高校生や大学生など若い世代の活動も出来るように検討してください。というのはいかがでしょう。</p> <p>要するに、中村委員の言われる高校生や大学生の協力は、おっしゃるとおりです。それをするには、学校の協力や指導する指導者が必要です。行政が学校などに働きかけて、若い世代の環境作りをしなければ無理です。放っておいたら出来ません。高校生達を集めてボランティア活動を行っても高校生達だけでは難しいので、中村委員のようなベテランの方のリーダーや世話役が必要です。そして、そこだけを強調してもダメなので、とにかく新規団体を受け入れろと言いたいです。14団体</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>に固定化してそれだけで活動するという考えは、とんでもない考えだと思っています。新規団体を入れて管理が難しければ、加治丘陵さとやま計画をもう一度練ってもらい、もう少し活動がやりやすい環境作りをして、その中で、中村委員の言うような若い人たち小学生でもいいですから山の中に入って活動してほしいです。例えば、NPO法人あそびあ〜と☆子ども劇場入間は、他の場所で行っています。入間市内ではあまり活動していません。使いづらく活動がやり難いと言っていました。実際に狭山丘陵では、県の指定管理の団体が「里山ようちえん」などを行っています。そういう意味でやる気になれば出来るわけですが、今の状態で都市計画課にやれといっても無理です。“加治丘陵さとやま計画の運営をもう1回見直すこと”とは意見書に書けないので、そういうニュアンスで2行、“既存団体の活動が低下しているので、新規団体を受け入れる。”それから“新しい世代の人達が活動しやすい環境作りを担当課は検討してください”というこの2つです。</p>
中村委員	<p>新しい人たちというのは年齢に幅があってよくわかりませんが、やはり若い世代の人達という表現は必要だと思います。何故ならまさに今は高齢化でいろんな問題が起きています。やはり若い世代の方が入っていたただかないと、ボランティア活動を続けていくことが非常に困難です。若い世代の方たちが新しい団体を作り、新たに加治丘陵を再生していくことが非常に必要だと考えます。ですので、私はこの表現のままでよろしいのではないかと思います。</p>
議長	<p>中村委員は、この表現でよいのではないか。木内委員は、若い世代だけではなくて大事なのは新規の団体を受け入れることが大事だと。この2つの意見についてご意見のある方はいらっしゃいますか。</p>
高村委員	<p>文章的に“若い世代”は2つも要らないと思います。</p>
森委員	<p>高村委員と同意見です。始めの 若い世代による新規の団体を受け入れる〜 から“若い世代”を削除して、 活動を継続していくには、新</p>

発 言 者	発 言 内 容
友野副主幹 議長	<p>では、(2)は、これで提言したいと思います。続いて、(3)をお願いします。</p> <p><(3) 地産地消の促進について 読み上げる></p> <p>先ほど斎藤委員から“買い物弱者”という表現使ったほうがよいのご意見でしたが、容易に地場農産物を購入できるようにするのは、買い物弱者だけに限りませんので、“市民”に表現を変更しました。この内容について、ご意見のある方はいらっしゃいますか。</p>
議長	<p><意見なし></p> <p>それでは、(4)に移ります。</p>
友野副主幹 議長	<p><(4) 報告書の記載方法について 読み上げる></p> <p>先ほどはご意見がありませんでしたが、この内容のままでよろしいでしょうか。</p>
議長	<p><反対なし></p> <p>それでは、最後の“なお書き”に移ります。</p>
友野副主幹 議長	<p><なお書き 読み上げる></p> <p>先ほどのご意見で 環境報告書の作成だけに留まらず、 を削除したほうがよいのご意見でしたが、削除すると前後の文章が繋がらないので 環境報告書の内容に加え、 変更しました。この内容について、ご意見のある方はいらっしゃいますか。</p>
議長	<p><意見なし></p> <p>それでは、この内容で市長に意見書を提出したいと思います。提出につきましては、川名副会長と私が市長にお渡しいたします。日程については事務局に一任いたします。</p> <p>以上で、議題『(1) 令和元年度における環境の保全及び創造に関する施策の進捗状況について』の審議を終了します。</p> <p>次に議題『(2) その他』について、事務局から説明をお願いします。</p>

発 言 者	発 言 内 容
高村委員	<p>す。これからのことを思うと、立ち席に高齢者がいるのは危険だと思うし、時間帯に大きな差があることを言いたいです。</p> <p>森谷委員と木内委員の意見からすると、最初の意見のままでよろしいかと思います。</p> <p><意見を基に原案を修正></p> <p>平成29年度に再編された入間市コミュニティバス「ていーろーど・ていーワゴン」は、一定の成果はあるものの更なる利用者の増加が望まれます。<u>利用時間帯により乗車率が異なるように見受けられるため</u>、今後は、バス事業者が有する各種データの提供を受け、それを活用し、更なる利便性の向上について協議いただきたい。</p>
議長	<p>いかがでしょうか。</p>
篠塚委員	<p>“乗車率が異なるように見受けられる”のまろやかな表現よりも、“乗車率に差異がある”の方が、インパクトがあると思います。</p>
議長	<p>インパクトがあるかではなく、常に乗車率に差異があるのかを我々は把握していませんので、表現を変えました。</p>
篠塚委員	<p>街を通っているときに色々なルートを見かけますが、本当に乗車率に差異があります。利便性の向上という意味では、“差異がある”のほうがよいと思います。</p>
議長	<p>差異があることをはっきり言った方がよいとの意見が増えてきましたが、皆さんも同じ考えでよろしいでしょうか。</p>
木内委員	<p>はっきり言った方がよいと思います。審議会で婉曲な表現をする必要は無いと思います。</p>
議長	<p>それでは、“乗車率が異なるように見受けられる”から“乗車率が異なるため”に表現を変更します。</p> <p><反対なし></p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>れることから行政には、団体同士のコミュニケーションのとれる環境作りや団体の橋渡しを積極的に図っていただきたい。</p> <p>今後、既存団体の活動が停滞していく懸念があるため、活動を継続していくには、新規の団体を受け入れることが必要と考えます。高校生や大学生を含め、若い世代が活躍出来る場を設けるなど、市民活動の活性化を検討していただきたい。</p>
議長	<p>いかがでしょうか。</p>
	<p><反対意見なし></p>
議長	<p>では、(1)は、これで提言したいと思います。続いて、(2)をお願いします。</p>
友野副主幹	<p><(2)公共交通の利便性の向上について 読み上げる></p>
議長	<p>ご意見のある方はいらっしゃいますか。</p>
森谷委員	<p>“今後”の前に、<u>～利用時間帯により乗車率に差異があるので、</u>今後は、バス事業者有する各種データの提供を受け～ に表現を変えるのが、先ほどの私の意見です。</p>
議長	<p>森谷委員のご意見は分かりますが、具体的にデータとしてはどうなのか分かりませんので、乗車率のデータも含めて上手くバス事業者のデータを活用してくださいという表現にしました。</p>
森谷委員	<p>我々にデータが無いからですか。</p>
木内委員	<p>時間帯によって混雑するときや利用者があまりいない現状を改善してくださいというのが意見ですから、議長が言われるように特定のデータを活用するように言わず、各種データでよいと思います。ただこの文章では、森谷委員が言われた、時間帯による利用状況に差異があるので、利用者の都合に合わせた運行形態を検討してもらうことが、読み取れませんので、現状について触れたほうがよいと思います。</p>
森谷委員	<p>利用者が一人の時もあれば、立ち席しか空いていない時間がありま</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長	<p>ことですから。市民活動団体の支援について、もっと新規団体が里山管理に従事できるように新規団体に入って下さい。と、若い世代の活動できるような環境整備してください。の2点です。</p> <p>まとめたいと思います。中村委員と木内委員の意見を総合しますと、中村委員は、若い世代が積極的に参加できる土壌づくりと、木内委員は、若い世代に拘らず血の入れ替えを推進してもらいたいとの二つの意見です。若い世代を強調して、また、会員の高齢化等により既存団体の活動が停滞していく懸念があるため、活動を継続していくには、新規の団体を受け入れることが必要と考えます。<u>高校生や大学生等が活躍出来ることを含めて、市民活動の活性化を検討してください。</u> は、いかがでしょうか。</p>
木内委員	<p>また、会員の高齢化等により既存団体の活動が停滞していく懸念があるため、 は要らないと思います。 活動を継続していくためには、<u>新規の団体を受け入れることや若い世代への継承も含めて市民活動を活性化できるように検討していただきたい。</u> はいかがでしょうか。“また” は要らないと思います。</p>
川名副会長	<p>“若い世代”が高校生や大学生になっていますが、最初の話しでは若い世代でした。若い世代がどのような年代かは、各々の年齢によって変わってくると思います。例えば、80歳の方でしたら60歳くらいでも若い世代と捉える感覚があるかもしれません。“高校生や大学生などの若い世代”にして“若い世代”は残した方がよいと思います。</p>
森委員	<p>“高校生や大学生を含め若い世代”のほうがよいと思います。</p> <p><意見を基に原案を修正></p> <p>加治丘陵山林管理ボランティア団体は、各団体の会員の高齢化などから会員数は減少傾向にあるため、今後の活動が懸念されます。</p> <p>この方策の一つとして、各団体が協力して活動を行なうことが考えら</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長	<p>一昨年に意見書を提出しましたが、意見書に対して市からやらないとの回答だったので、同じ内容だと問題があると思います。</p>
浅川課長	<p>それでは、“高齢化”は入れたほうがよいと思いますが、斎藤委員が言われるように、1行目だけでよいと思います。</p>
中村委員	<p>高齢化の問題については、入れたほうがよいと思います。やはり若い人達が活動しないと加治丘陵ボランティア団体は再生しないので、若い人達が活動出来る場を積極的に作っていかねばならないと考えます。私の所属する団体も平均年齢が82歳で、大変なところに来ています。ですので、若い人達に積極的に加治丘陵ボランティア団体にチャレンジしていただくために、若い人達に入って欲しいということを強調していただきたいと思います。</p>
木内委員	<p>担当課が拒否しているとのことですが、何故拒否しているのか聞いてもらいたいです。それと、さとやま計画が既存団体で大丈夫だと感触を持っているから拒否するわけですが、環境審議会の答申に対して、拒否するというのは前市長のときはそうだったかもしれませんが、市長が変わったので。中村委員が言うのは正論です。誰もが考えていることです。現実には来ないです。来るための施策が展開されていない。それと、新規団体も意見に入れてください。団体数を14団体に固定化するなら、活動が展開できるように新規団体に入れ替えてくださいと。担当課としては上手くいっているから、「そんなことやらなくてよい」との判断であればそうですが、環境審議会で提言していますが一向に改善されない。環境審議会は市長に答申して、やると返事はありませんが実際はやっていなかった。単なるガス抜きかと。やはり、かなり強く言わないといけないのではないかと。今は新しい市長だから。強調して中村委員が言うような若い世代が間違いないです。どうやったら若い世代が活動出来るのかと言う事を市として考えてください。さとやま計画が市民の楽しみでもあるし、里山管理も良くできれば市民が沢山訪れるという</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長	<p>規の団体を受け入れることが必要と考えます。若い世代への継承も含め、～ にすれば、木内委員と中村委員の意見が通じるのではないのでしょうか。</p> <p>高村委員、森委員の意見を含めまして、始めの 若い世代による新規の団体を受け入れる～ から“若い世代”を削除すると、木内委員の言われたとおり“既存団体の活動が停滞している懸念があるため”など何か加えないと、文章が繋がらないと思います。</p> <p><意見を基に原案を修正></p> <p>加治丘陵山林管理ボランティア団体は、各団体の会員の高齢化などから会員数は減少傾向にあるため、今後の活動が懸念されます。</p> <p>この方策の一つとして、各団体が協力して活動を行なうことが考えられることから行政には、団体同士のコミュニケーションのとれる環境作りや団体の橋渡しを積極的に図っていただきたい。</p> <p>また、<u>会員の高齢化等により既存団体の活動が停滞していく懸念があるため、活動を継続していくには、新規の団体を受け入れることが必要と考えます。</u>若い世代への継承も含め、市民活動を活性化できるよう検討していただきたい。</p>
斎藤委員	<p>1行目に“高齢化”があるので、～会員の高齢化等により既存団体の活動が～ には、“高齢化”が無くてもよいと思います。</p>
浅川課長	<p>木内委員の意見は、既存団体の数の固定化が問題との意見ですので、その視点から新規団体を受け入れる表現はいかがでしょうか。</p>
議長	<p>その表現ですと、一昨年に提示している内容と同じになります。</p>
木内委員	<p>進歩していないので、同じ内容でもよいと思います。</p>
議長	<p>一昨年に提言しましたが、その回答で拒否されています。</p>
木内委員	<p>拒否されたのですか。それは担当課からですか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
浅川課長 議長	<p><審議委員の任期について説明></p> <p>以上で、議事が終了しましたので、これで議長の座をおろさせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
浅川課長	<p>ありがとうございました。最後に閉会の挨拶を川名副会長にお願いいたします。</p>
川名副会長	<p><閉会></p> <p>閉会の挨拶</p>

議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和3年 1月18日

議 長 の 署 名

黒 龍 孝 彦

議長が指名した者の署名

川 名 千 鶴 子

